

新連載!

知的女子のススメ、明日から職場で使えるミニ知識★

沖縄

# 政治 & 経済 ラボ

一般財団法人沖縄公共政策研究所の安里繁信さんが、  
沖縄の「今」をわかりやすく解説。第一回目のテーマは…

## 沖縄と観光 ①

本年度の沖縄の入域観光客数は飛躍的に伸びると予測されていますが、なぜだと思いますか？

要因として、観光政策においてオンとオフ、シーズンの二極化対策に春夏秋冬企画を打ち出し、旅行商品として季節を問わず新たな沖縄の魅力発信ができたこと。併せて、修学旅行客の伸びや国内景気浮揚への期待感も後押ししてくれました。また、今年3月に新石垣空港が開港し、観光客の受け入れキャパのひろがりに加え、航空会社やエージェントによる石垣への新規路線の参入と商品造成、メディアの積

観光客数は絶対調  
けれど課題も

解説してくれるのは…

### 安里 繁信さん

一般財団法人沖縄公共政策研究所  
理事長、シンパホールディングス  
株式会社代表取締役会長、早稲田  
大学総合研究機構公共政策研究所  
招聘研究員、公共経営修士  
(Master of Public Management)。  
沖縄の明るい未来づくり  
のため、日々研究、奮闘中。



極的な八重山観光の魅力  
発信も影響し、沖縄観光全  
体がポジティブに動いてい  
ます。

平成25年11月現在、県が  
目標として掲げる630万  
の入域観光客数は確実に  
達成できると見込まれて  
いますが、よろこばしい反  
面、課題も多くあります。  
急増する入域客に、ピーク  
時の宿泊施設の不足、人手  
不足によるチェックイン  
の遅れ、台風で足止めを食  
らった方々の宿泊先の問  
題、増える外国人客への不  
十分な対応など…。施設の  
拡充に加え、人材育成も急  
務であると同時に、観光従  
事者の待遇改善も重要課  
題です。観光全体の質の向  
上とそれに伴う価値創造を  
いかに達成するか、沖縄の  
リーディング産業として県  
民挙げて知恵を絞る必要があ  
ります。

オール沖縄で  
盛り上げましょう!



また、純粋な観光だけ  
で入域客数を増やそうと  
しても限界があり、その  
補完の意味で、MICE

### 今月の業界用語 MICE (まいず)

企業等の会議(Meeting)、企業等が行う報奨・研修旅行(インセンティブ旅行)(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)の頭文字のことであり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称です。シーズンに左右されることなく観光客が訪れるため、この需要獲得に向けて沖縄県も力を入れています。



(欄外参照)の促進が叫ば  
れていますが、大型  
MICEに対応できる施設  
がなく、これをどうしてい  
くかも大きな課題です。  
観光振興には何よりも  
県民のホスピタリティ  
が大切。不慣れた土地で  
運転する観光客に道をゆ  
ずってあげたり、困って  
いる観光客に思い切って  
声をかけてみたり、観光  
への理解を深め、できる  
ことから始めてみてはい  
かがでしょうか。